



鶴ヶ島市立長久保小学校 学校だより

第 7 号

令和7年10月1日

文責 校長 伏見 隆一

鶴ヶ島市脚折町 4-12-1

Tel 049-286-2160

はばたき



猛暑・酷暑が続いていましたが、ようやく朝晩は、涼しく感じられるようになりました。体調を崩さないよう、くれぐれも健康に気をつけてください。

勉学にいそしむ秋、芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋・・・、もうすぐ爽やかな秋本番です。10月18日の運動会に向けての練習も始まります。子どもたちには、ますます充実して過ごしてほしいです。

未来に向かって、得意なことを伸ばし、広げる

車両の自動運転、空とぶクルマ、人工知能（AI）による文章作成、小惑星からのサンプルリターン等が実現しています。科学技術の進展が目覚ましく、近い未来には、私が子どものころには、全くの夢や想像の世界だったことが、何でもできるようになる世の中になっているのではないかと思います。

未来の世界は、今の子どもたちが中心となります。どんな未来になるのでしょうか。楽しみで仕方ありません。子どもたちが、未来の世界を創造していくためには、それぞれが、自分の得意なことを伸ばすことが、大切だと思います。

「計算が得意」「音読が得意」「字を書くのが得意」「絵をかくのが得意」「片付けが得意」「外遊びが得意」「運動が得意」「虫を採るのが得意」「ゲームが得意」等々、どの子にも必ず得意なことがあります。子どもに、得意なことを認識させるためには、得意なことを保護者や周りの大人、友だちが評価し、認めてあげることが大切です。それが、その子の自信につながり、自己肯定感、自尊感情が高まります。自尊感情の高まりは、自分を大切にすること、他人を大切にすることにもつながります。



少し古い話ですが、将棋の大山康晴十五世名人が、「名人の得意の手は、何ですか。」と問われ、「得意の手があるようでは玄人ではありません。」と答えたそうです。大山名人は、得意の手がないのではなく、絶対に誰にも負けない得意の手があったはずで、だからこそ、得意の手を広げることができ、どんな相手にも臨機応変に対応できたのだと思います。

子どもたちが、得意を伸ばし、その力を他の分野にも波及させながら、成長することを願っています。そして、子どもたちの可能性が大きく広がることを期待しています。



歩行中児童 10月事故最多！

先日、警察庁は、昨年までの5年間で歩行中に死亡・重症事故にあった小学生児童が、月別では10月が最多であったことを公表しました。その原因として、

- ・日没が早まること
 - ・過ごしやすい気候となり、新学期の環境にも慣れてきて活動的になること
- が、あげられています。改めて、交通事故防止5つの行動を確実に行之、絶対に交通事故に遭わないよう気をつけていきましょう。

【交通事故防止5つの行動】

- | | | |
|--------------|-------------|-----------|
| ○もしかして（危険予測） | ○とまる（一時停止） | ○みる（安全確認） |
| ○まっ（安全確保） | ○たしかめる（再確認） | |

自転車用ヘルメット着用率の結果も公表されました。全国では、21.2%（埼玉県は10.6%）でした。**命を守る自転車用ヘルメット**の着用を励行しましょう。

読書で情操を育み、学力向上！「読書月間」

『食べ物は体の栄養となり、読書は、心の栄養となる。』

読書は、宇宙へ行ったり、外国に行ったり、恐竜に会えたり、動物とお話ができたり等、自分ではできないすばらしい体験をさせてくれます。そして、情操を育みます。教養を高めるとともに、語彙が豊かになり、読解力の向上など学力の向上にも寄与します。読書は、楽しくて、よいことがいっぱいです。

本校では、9月を読書月間とし、図書委員会による取り組みの紹介、読書すごろく、おすすめの本掲示や「お気に入りの本を見つけました」等、読書に親しむ一助となるように様々な取り組みを行いました。

また、家庭でも読書に親しみ、親子で一緒に本を読む機会を作っていただき、素敵な時間を過ごしていただくために、「親子読書のお願い」を配布しました。この取り組みを契機に、これからも積極的に読書・親子読書をしてください。そして、よい本にたくさん出会ってください。



18日(土) 運動会

子どもたちの活躍を応援してください。お待ちしております。

ラジオ体操や運動会の歌の練習も始まりました。代表委員会や運動委員会、応援団の準備・活動も始まりました。

学年での演技・競技の練習は、6日からになります。ご家庭でも体調管理をよろしく願いいたします。